

第4分科会 テーマ：河川の維持管理等における工夫事例

No.	題名	地 方 ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要	主な関係者
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量※1	セグメント※1		機 関	部・事務所		
1	久著呂川における河川沿いの土砂調整地の効果と課題 ～釧路湿原再生への取組～	北海道	釧路川水系 久著呂川	補助(1級)	148	中小河川	70m3/s (W=1/3.5)	2	くどう けと 工藤 慧斗	北海道	釧路総合振興局釧路建設管理部	・ 釧路湿原に流入する久著呂川では、湿原への流入土砂量を軽減するため、土砂調整地を設置している。調整地内の堆積土砂状況をモニタリングし、効果の検証や生物に配慮した効率的な土砂掘削方法の検討を行った事例について報告する。	(調査計画関係者) 株式会社 北海道水工コンサルタンツ (関係協議会・委員会) 釧路湿原自然再生協議会・土砂流入小委員会
2	一級河川武茂川における多自然川づくりの取り組みについて	関東	那珂川水系 武茂川	補助(1級)	152	中小河川	450m3/s (W=1/30)	1	いまい ゆうし 今井 勇士	栃木県	県土整備部	・ 「多自然川づくり研修会」を開催し、土木関係者と水産関係者がともに多自然川づくりを学ぶ機会を設けた ・ 一級河川武茂川において、水産関係者と自然環境に配慮した取り組み内容を検討し、堆積土除去工事と併せて寄せ石などを実施した。	(研修会にてご講演いただいた方々) 日本大学理工学部安田陽一教授 (研修会にてご講演いただいた方々) 近自然河川研究所所有川代表 (研修会にてご講演いただいた方々) 栃木県立馬頭高等学校佐々木慎一教諭 (地域の関係団体) 地元の漁業協同組合
3	霞ヶ浦におけるナガエツルノゲイトウ対応について	関東	利根川水系 常陸利根川	直轄(1級)	220km2	大河川		3	あびる ひろのぶ 阿比留 裕信	関東地方整備局	霞ヶ浦河川事務所	・ 霞ヶ浦では近年ナガエツルノゲイトウの分布が拡大、今後河川管理施設への影響が懸念 ・ R3からの駆除試験施工実施 ・ 設置したオイルフェンスにより再漂着防止を確認 ・ 試験施工結果及び今年度オイルフェンスを用いた対策事例について報告	【自治体】茨城県、江戸崎地方衛生土木事務組合（稲敷市・美浦村） 【調査設計関係者】株式会社建設環境研究所 【工事関係者】天海建設株式会社 【研究機関】国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
4	すごいぞ。サクラマスモード ～鳴鹿大堰の魚道運用状況の報告～	近畿	九頭竜川水系 九頭竜川	直轄(1級)	2930	大河川	5,500m3/s (W=1/150)	1	こいけ いさむ 小池 勇	近畿地方整備局	福井河川国道事務所	・ 鳴鹿大堰運用開始後に問題となったサクラマスの遡上阻害（堰下流での滞留）を、魚道の流量調整によって改善させた。 ・ 魚道の遡上効果を高めた取り組みについて説明する。	(業務関係者) 三井共同建設コンサルタント株式会社 関西支社
5	重信川かわまちづくり	四国	重信川水系 重信川	直轄(1級)	445	大河川	2500m3/s	1	まるばしりょうた 丸橋 亮太	四国地方整備局	松山河川国道事務所	・ 官・民・学が一体となったかわまちづくりの推進 ・ 重信川かわまちづくり整備箇所の積極的な利活用	(地域の関係団体) 東温市都市整備課 (調査設計関係者) (株) 荒谷建設コンサルタント
6	上八川河川改修事業について	四国	仁淀川水系上八川川	補助(1級)	164.97km2	中小河川	550m3/s (W=1/30)	M	てらお れんたろう 寺尾 錬太郎	高知県	中央西土木事務所	・ 上八川川のはの構造物は、建設から数十年が経過しており、構造物自体の破損や周辺の河床の深掘れなどが起こり、魚類の遡上が困難な状況となっている。	(地域の関係団体) 仁淀川漁業協同組合 (調査設計関係者) 西日本科学技術研究所 (工事関係者) 有限会社伊東組
7	地域との協働によるガタ土しゅんせつ ～河川維持工事の低コスト手法～	九州	矢部川水系 沖端川	補助(1級)	33.5	中小河川	350m3/s (W=1/100)	3	いのうえたけひこ 井上 毅彦	福岡県	南筑後県土整備事務所柳川支所	・ 地域との協働により維持工事（河道掘削）を行い、従来コストの1/10以下で施工を実施出来た。	(地域の関係団体) 柳川市役所 (地域の関係団体) 柳川みやま土木組合 (工事関係者) 株式会社熊丸建設